

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|----------------------|--------|------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 中川町 | | | 代表者名 | 町長 石垣寿聡 |
| 担当者部署(属性) | 情シス担当 | 担当者部署名 | 地域振興課広報情報係 | 連絡先電話番号 | 01656-7-2819 |
| 担当者役職 | 主事 | 担当者氏名 | 田中 幸希 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 098-2892 北海道中川町337番地 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | | | |
|-------|--|---------|--|-----------|--|
| 団体名 | | 連絡先部署 | | | |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | | 連絡先E-mail | |

1-3. 支援を求める内容

| | | | | | |
|----------|---|---------|----------------|--|--|
| 支援方法 | 具体的課題への支援 | 事業名(予定) | 中川町情報化推進計画策定事業 | | |
| 概要 | 現在当町には地域情報化計画やDX化推進計画などを策定しておらず、町全体としての情報化の進め方がいまだ定まっていない状態。その状態を解消し官民一体的に情報化DX化に取り組めるように計画策定に対して助言や策定のノウハウをいただきたい。 | | | | |
| 支援を求める分野 | 計画策定支援 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 自治体システム標準化・共通化 | | | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|-------------|---------------|--------------|------------|--------------|----------|
| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
| | 有 | 169 | 令和6年7月17日 | 事前打合せ | オンライン |
| | 派遣日予定日(申請書より) | 支援内容(申請書より) | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) |
| | 令和6年7月18日 | 事前打合せ(オンライン) | 10時00分 | 11時00分 | |
| | | | 活動時間(分) | 60 | |
| 2-2. 派遣場所 | 会場名 | オンライン | 最寄駅 | オンライン | |
| | 所在地 | オンライン | 最寄駅からの交通手段 | オンライン | |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 関 治之 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 当町の実情と職員からの要望を、それぞれを叶う形で実地での講話等を設定していただいたことや、現状や要望についての確にアドバイスをいただいたため。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 特になし |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | | | | |
|----------------|-------------------------|-------|----|-------|-----------|
| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 合計人数 | 3人 | | |
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 | 企業・団体 | その他(学生など) |
| | 人数 | 3 | | | |

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|-----------------------|---|
| 事業の課題・問題点(具体的に記入下さい) | OAも含めて当町では担当職員がつきはぎのようにシステムを更新していたため、当町の全体現状について担当職員でも把握できていない点 執務環境も近隣自治体と比べかなり遅れており、職員の業務効率が良くない点。 DXに関する計画を策定していない点 役場全体としてDXについての理解や意識醸成が進んでいない点 |
| 支援により目指す成果(具体的に記入下さい) | 役場職員全員が、ある程度DXに対して理解や意識醸成が進み、職員間でDXについて意見交換ができる状態になること。DXに関する計画を策定し、それに沿いながらDXを推進できる体制になっていること。 執務環境が改善され、業務効率が向上していること。 |

| | | |
|---|---|---|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 8月28日29日の実地で行う支援についての事前打合せ。 28日は管理職にたいしてDXについての意識醸成の講話と、情報化推進リーダーを各課に配置し、リーダーに対しても意識醸成の講話とワークショップを行うこと。 29日はワークショップの見本として、地域振興課に対して実際のワークショップを行い、リーダーがそれを見学してもらい、ワークショップの進め方を理解してもらうスケジュールになった。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 事前の打ち合わせの為、触接的に改善及び解決はされていないが、改善及び解決に向けての筋道が示された。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 事前打ち合わせの為、ない | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 事前打ち合わせの為、なし | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせの為、なし | |
| 4-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ②次年度に予算化を図り推進する |
| 4-4. 事業の最終的な目指す姿 | どんな自治体でも人口減少は生じ、それに伴い、役場職員も減少することが目に見えている。それに適応するためにも、デジタルの活用は有用であることは明確であり、積極的にデジタルを活用し職員の業務効率の改善や改革を行っていただける組織や体制の構築 | |
| 5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 | | |
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 | https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/ |
| <p style="text-align: center; color: red;">なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p> | | |
| 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子 | | |
| 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。 | | |
| <p style="text-align: center;">日時：2024年7月18日 10:00～11:00</p> <p style="text-align: center;">出席者：地域情報化アドバイザー 関治之氏 中川町地域振興課長 久保、広報情報係 主事 田中 主事補 橋本</p> <p style="text-align: center;">内容：各自自己紹介の後、当町の現状について関氏に説明し、8月28日29日の両日で実施していただく内容について相談を行った。 その結果、管理職と情報化推進リーダーへの講話とワークショップ、ワークショップの見本を地域振興課で行うことに確定した。 また、当町のDXの推進に向けたアドバイスをいただいた。</p> <p style="text-align: center;">※画像については写真撮影を失念してしまいました。申し訳ございません。</p> | | |